

大学院工芸科学研究科博士前期課程(修士課程)
一般入試(第Ⅱ期)
大学院工芸科学研究科博士後期課程
一般入試(第Ⅰ期)
社会人特別入試(第Ⅰ期) を受験予定の方々へ

京都工芸繊維大学

令和3年度大学院博士前期課程・博士後期課程
入学試験の実施に関わる重要なお知らせ

令和3年度大学院博士前期課程・博士後期課程の入学試験に関しては、令和2年8月25日付けの文書により、専攻によって対面方式とオンライン方式に分類して実施すると案内しました。

それぞれの入学試験に関わる学力検査の日時および科目等について、次の(1)～(4)のとおり、お知らせしますので確認してください。

(1) 学力検査の日時および科目について

募集要項に記載していた学力検査の日時および科目については、3ページ以降のように変更します(募集要項の抜粋)。変更した箇所は、朱書きで記載していますので、必ず確認してください。

(2) 受験についての注意について

受験上の注意事項は、対面方式とオンライン方式に分けて記載しています。

対面方式の「受験上の注意事項」に関しては、新型コロナウイルス感染防止に関連する注意事項を追記し、オンライン方式の「受験上の注意事項」に関しては、新たに作成しました。

受験しようとする専攻の実施方式の「受験上の注意事項」を必ず確認してください(対面方式6ページ、オンライン方式8ページ)。

また、博士後期課程一般入試(第Ⅰ期)・社会人特別入試(第Ⅰ期)の物質・材料化学専攻、電子システム工学専攻については、専攻ごとの注意事項を追記しましたので、必ず確認してください。

(3) 試験場について

対面方式で実施する専攻の試験室等については、9月16日(水)までに本学のホームページに掲載します。

オンライン方式で実施する専攻の受験生は、パソコンを用いて口述試験を受けることから、大学(松ヶ崎キャンパス)に来学する必要はありませんが、有線LANやWi-Fi環境でパソコンに接続できる等、ネットワーク環境が整っている場所で受験することが求められます。

(4) 受験生用マニュアルおよび口述試験の開始時刻について

オンライン方式で実施する専攻の受験生に対して、9月9日(水)に受験生用マニュアルをダウンロードするためのURLを、出願時に登録されたメールアドレス宛に案内します。

(5) 接続テストについて

9月17日(木)の本番試験(オンライン入試)に備えて、入試課と受験生との間で接続テストを9月11日(金)もしくは14日(月)に実施します。具体的な実施方法については、9月9日(水)に通知するWebexの受験生用マニュアルに記載しています。

問合せ先
〒606-8585
京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地
京都工芸繊維大学 入試課 大学院入試係
電話：075-724-7162、7096
メール：innyushi[at]kit.ac.jp
(※[at]を@に変換してください。)

11 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日時及び科目

② 第Ⅱ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブ 科学専攻	令和2年 9月17日(木)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施します。外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和2年 9月17日(木)	筆記 試験	外国語 9:00~10:30(90分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	専門的な知識を問う。

11 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日

一般入試（第Ⅰ期）・社会人特別入試（第Ⅰ期） 令和2年9月17日（木）

(2) 検査方法 一般入試（第Ⅰ期）・社会人特別入試（第Ⅰ期）

●対面方式で実施する専攻

専攻名	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
設計工学専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
	口述試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。
デザイン学専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
	口述試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。
建築学専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
	口述試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。
バイオベースマテリアル学専攻	筆記試験	外国語 9:00~10:30 (90分)	100	英語
	口述試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。

●オンライン方式で実施する専攻

専攻名	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
バイオテクノロジー専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
	口述試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。 Webexを利用したWeb面接を実施する。 バイオテクノロジーに関する基礎知識、研究計画の妥当性、博士後期課程大学院生としての資質を問う。
物質・材料化学専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
	口述試験	13:30~	200	Webexを利用したWeb面接を実施する。 研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。

(次ページへ続く)

博士後期課程一般入試・社会人特別入試

専攻名	区分	学力検査科目・時間	配点	内容
電子システム工学専攻	筆記 試験	外国語 10:30～12:00 (90分)	100	英語
	口述 試験	13:30～ 9:00～	200	Webexを利用したWeb面接を実施する。 研究分野に関連した科目についての専門的 学力、修士論文、研究経過報告書、研究計 画書等について実施する。

対面方式での入学試験実施に際しての受験上の注意事項

1. 共通の注意事項

注: 下記の事項は、募集要項の各入試種別の該当ページにおける「学力検査日時、検査方法及び場所等の受験についての注意」に置き換えます。

(1) 受験前（新型コロナウイルス関連）

- ① なるべく外出を避け、特に人が密に集まって過ごすような空間を避け、不必要な他人との接触交流の機会を極力減らすこと。
- ② マスクを着用する、手指を石鹸で念入りに洗浄する、日々検温するなどの予防を徹底することにより、体調管理に万全を期して試験当日を迎えること。
- ③ 厚生労働省や京都府など信頼できる情報源から最新情報を確認し、自宅から大学に移動するために利用するバス・電車等においても最大限の注意を払い、受験生に望まれる冷静な行動をとること。
- ④ 発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関での受診を行うこと。
- ⑤ 新型コロナウイルスに罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません。
- ⑥ 試験当日に発熱や咳等の症状があるなど、著しく体調が悪い者は受験できません。

(2) 持参物

試験には、次の物を持参してください。

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
- ② 筆記用具（HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
- ③ 時計（携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。）
- ④ 予備も含めて感染防止用のマスク（無地のもの）

(3) 受験日（新型コロナウイルス関連）

- ① アルコール消毒液が試験室入口付近に設置されるので、入退室する際には、必ず手指の消毒を確実に実施すること。
- ② 症状の有無に関わらず、各自マスク（無地のマスク）を持参し、試験場では、飲食時以外は常に着用すること。なお、試験時間中においては、感染予防の観点からマスクの着用を義務付けますが、写真照合を行う時など、試験監督者からの指示があった場合は、マスクを外すこと。
- ③ 休憩時間や昼食時等における受験者相互の接触、対面での会話を極力控えること。
- ④ 咳やくしゃみをする際には、咳エチケット（マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）を徹底すること。
- ⑤ 試験中に水分補給をしたい場合は、試験監督者の許可を得た上で行うこと。
- ⑥ 試験当日、食堂は短縮営業していますが、可能な限り弁当などを持参し、自分の受験番号の席で昼食をとること。

(4) 受験上の留意事項

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
- ② 試験当日は試験開始 20 分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ③ 試験開始後、20 分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
- ④ 指定の科目等を 1 科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を超過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。
- ⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

(5) 禁止事項

- ① 試験中は、受験票並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。
- ⑤ 試験室内では入室から退室（休憩時間を除く）まで、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室する（休憩時間を除く）まで、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。
- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。

(6) その他

試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページ (<https://www.kit.ac.jp/>) でお知らせします。

- ① その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

オンライン方式での入学試験実施に際しての受験上の注意事項

1. 共通の注意事項

注：下記の事項は、募集要項の各入試種別の該当ページにおける「学力検査日時、検査方法及び場所等の受験についての注意」に置き換えます。

- ① オンライン入試は、シスコシステムズ合同会社のCisco Webex Meetingsを使用して行います。
- ② 事前に、入試課から配付するWebexの受験生用マニュアルを、熟読してよく理解した上で受験してください。
- ③ オンライン入試を録画・録音、静止画像を保存すること、それらの公開や二次利用等を堅く禁止
します。
(大学では客観性を保証するため録画をします。ただし、一定期間後に録画データは削除します。)
- ④ 他者によるなりすまし受験、オンライン入試実施中の受験者間あるいは第三者との情報交換は、不正行為となります。また、試験を終了した者が未受験者へオンライン入試に関する情報提供を行った場合、情報の提供側、受け手側の双方を、不正行為を行ったものとみなします。
- ⑤ 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票および学生証等の写真付き身分証明書を準備し、面接担当者等の指示に従って提示してください。準備していない場合は、受験できないことがあります。万一、受験票を紛失した場合は、インターネット出願システムから再度ダウンロードしてください。
- ⑥ 試験当日は事前の案内メールに記載された集合時刻 20 分前までに利用環境を整えてください。
- ⑦ 万一、面接開始時刻までに入室できなかった場合は、受験者用マニュアルに従って、入試課まで電話で連絡をしてください。
面接開始時刻から 20 分を過ぎて連絡がなかった者は、受験する意思がなかった者として取り扱います。
- ⑧ 試験には、次の物を準備しておいてください。
<全専攻共通>
 - ・ 2Bの鉛筆もしくは黒のサインペンを含んだ筆記用具
 - ・ 白紙 (A4) 数枚
 - ・ バインダーあるいは下敷き (記入した用紙を面接者に見せる際に支えとすることを想定しています)<特定の専攻>
物質・材料化学専攻および電子システム工学専攻については、専攻ごとの注意事項で指定されたものを準備しておいてください。
- ⑨ 試験中、資料 (教科書、辞書、参考書、個人のメモ書き、準備資料等) の閲覧を禁じます。但し、専攻ごとの注意事項で指定されたものを準備し、それを閲覧するのは差し支えありません。
- ⑩ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または面接担当者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑪ 身体の都合等によりオンライン入試を受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。また、接続テストから試験日までの間に、Webex利用端末が故障し、オンライン入試を受験することが困難な状況になった場合も、入試課に申し出てください。
- ⑫ 待機中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われる場合は、入試課に申し出て、その指示に従ってください。また、面接実施中に気分が悪くなるなど、面接を継続することが困難と思われる場合は、面接担当者に申し出て、その指示に従ってください。

- ⑬ オンライン入試を受ける際には、周辺にある音の出る機器の電源を予め切るなどして、騒音などの送受信障害が起きにくい適切な受験環境を整えてください。

2. 各入学試験区分における専攻ごとの注意事項

(1) 博士後期課程一般入試（第 I 期）・社会人特別入試（第 I 期）

◆ 物質・材料化学専攻

オンライン口述試験は、学生募集要項に記載の検査方法における「口述試験」の「内容」に準じて行うので、研究経過や研究計画等を説明するための資料を準備しておいてください。資料は、オンライン口述試験の際に Webex で共有できるように、Microsoft 社製 Powerpoint や Apple 社製 Keynote 等のプレゼンテーションソフトで作成したファイル、あるいは PDF ファイルとして、オンライン口述試験の際に使用する PC に予め保存・準備しておいてください。

◆ 電子システム工学専攻

口述試験での研究計画プレゼンテーションは、プレゼンテーションの少なくとも一部分は、英語のスライドを用いて、英語で説明を行うこと。